

2024年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	関係法規・制度	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	1 Semester(前期)
学科・専攻	美容師科 全専攻	授業 形態	講義	単位 時間	1 30	曜日 時限	水 1組(3限) / 2組(2限)
教員	諸岡 功明	【教員実務 経験】	大学院博士課程において、教育学を専攻したのち、本校のみならず様々な高等教育機関で実践を行いました。本校においては10年以上国家試験対策に従事しています。				
【到達目標】	美容業と法律の関係を理解し、公衆衛生の向上に寄与しようとする美容師になるために、国家試験合格に必要な知識を身につける。						
【授業の学習内容】							
美容師になるために合格が必要な国家試験に必要な知識、テクニックを当該教科だけでなく、関係する他教科の分野まで身につけることができます。							
週	授業形態	授業計画・内容					小テスト・中間テスト・定期試験
1	登校	①授業を受けるにあたって気をつけるべきことを理解する。②法制度の概要について理解する。③関係する行政体の仕事の違いを理解する。					
2	登校	①美容師の仕事の法的意義を理解する。②美容師と理容師の職務の差異について理解する。③美容師免許の取得方法を理解する。④保健所の役割と機能について理解する。					
3	登校	①美容師免許の取得の仕方を理解する。②免許取得後仕事ができない場合(免許取り消し、業務停止処分)について理解する。					小テスト5点
4	登校	①美容師の業務における法的義務について理解する。②管理美容師制度について理解する。					
5	登校	美容所の開設について、その時期、必要書類、変更届との差異などの点を理解する。					小テスト5点
6	登校	①美容所の開設者の講ずるべき衛生措置について理解する。②美容所以外で美容業ができる特例について理解する。					
7	登校	①違反者への処分、とくにオーナーが閉鎖命令を受ける場合を理解する。②罰則になる5つのパターンを理解する。					小テスト5点
8	登校	中間試験					中間テスト20点
9	登校	①中間テストで間違えたところを確認し、正しい知識を身につける。②立ち入り検査について理解する。					
10	登校	美容師法で問題となる期間についてポイントを理解する。以下について国家試験で正答できる知識を身につける。 ①行政事務の主体 ②美容師と病气					
11	登校	条例で追加して定めることのできる3つの事柄について、それぞれの同異点について理解する、それについての国家試験の過去問に正答できる。					小テスト5点
12	登校	美容師の法的な職務である公衆衛生について、とくに注意が求められる保健所、管理美容師、立ち入り検査制度及び生衛法についてポイントを確認する。それについての国家試験の過去問に正答できる。					
13	登校	以下のポイントについて再確認し、それについての国家試験の過去問に正答できる。 ①美容師法と関係法規 ②美容師法と数字 ③これが出たら×シリーズ					
14	登校	定期試験					定期試験50点
15	登校	定期試験フィードバック・成績評価					小テスト10点
準備学習 時間外学習	準備 : まとめのプリントを整理するファイルの用意 時間外学習 : 授業のポイントを復習し、記憶する。						
評価方法	●習熟度 : 定期50点 口頭試問、筆記式小テスト30点 中間テスト20点 ◇出席 : 出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる) ◇合否 : 60点以上で合格(A: 100~90 B: 89~80 C: 79~70 D: 69~60) 否(E: 評価資格喪失 F: 59~0) 実習や習熟度が測れないものはS・U評価)						
受講生への メッセージ	言葉が専門的で表現も難解ですが、その分出題の傾向とポイントは一定です。絶対に覚える必要のあることに絞って理解しましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
日本理容美容教育センター『関係法規・制度』適時講師が教科書のポイントをまとめたものを用意します。							